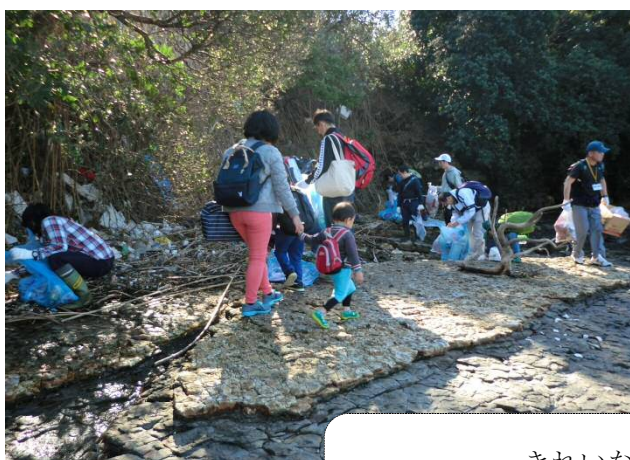


「佐久島まるごと 自然体験ツアー」を開催しました。

平成 29 年 11 月 3 日（金）に三河湾の松島と呼ばれるアーチの島、佐久島で「佐久島まるごと 自然体験ツアー」を開催しました。

ツアーには、本協議会員のご家族やご友人を中心に、お子様を含め約 40 名が参加し、一日をとおして、豊かな佐久島の自然を「見て・聞いて・触って・食べて体験する」ことにより、地域の身近な自然を守ることの大切さを学びました。

当日は、佐久島東港に到着後、「島を美しくつくる会」の鈴木会長から、島の漂着ゴミの現状や、年間約 1,300 人のボランティアの協力により清掃が実施されているなどの説明を受けた後、港から大浦海水浴場へ続く海岸の清掃活動を行いました。岩場が多く歩きにくい海岸でしたが、約 30 分間の活動で、軽トラック 1 台分のゴミ（ペットボトル、瓶、缶）を拾いました。



きれいな島を守りたい！
いっぱいゴミを拾ったよ。

その後、「磯の観察会」を行うため、天神の浜へ歩いて向かいました。まず、「愛知県水産試験場」の講師から、「磯や干潟にはどんな生きものがいるのか」「触ると危ない海の生きもの」などの説明を受けました。その後全員が胴付長靴を着用して潮の干いた磯へ入り、水中メガネを使って海の中を観察したり、魚を網ですくうなど「見て・触る」ことにより生きもの豊かな海を体感しました。観察会ではギンポ、カサゴ、ウミウシ、ナマコ、イソガニ、アブハゼ等を捕まえ水槽に入れて観察し、その特徴を学びました。



どんな生きものがいるのかな？



捕まえた生きものを、みんなで観察！
見て・聞いて・触って！



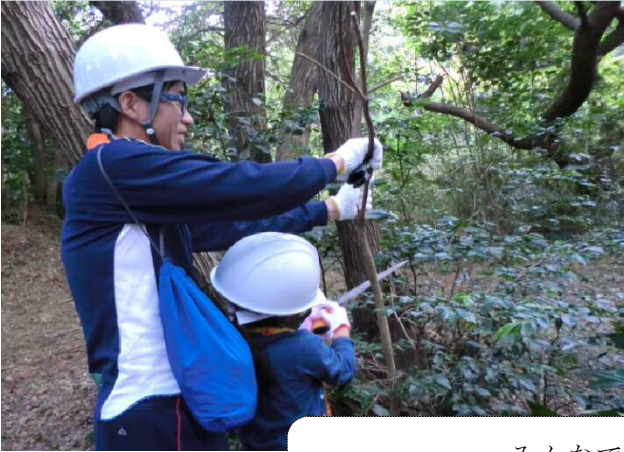
そして、昼食は佐久島で捕れたタコをふんだんに使ったカレーを潮風の下で食べながら、高橋副会長から空を飛んでいる野鳥の説明を聞き、また「島を美しくつくる会」の鈴木会長から“佐久島の海をもっと豊かにしたい”という思いから始まった佐久島中学校「海」グループの「アマモを増やして藻場を再生する運動」の紹介を受けました。



きれいな空には、美しい野鳥が
気持ちよさそうに飛んでいたよ！

2017/11/03

午後からは、島の西部にある大山の白山社付近の森へ入り、うっそうと茂る「カクレミノ」を除伐しました。ほとんどの参加者が初めての体験でしたが、想像したよりも柔らかい幹だったので、大人も子供も剪定ばさみと手のこを使って次々に伐り取りました。約1時間の活動により薄暗かった森がとても明るくなったことを実感し、里山の整備の重要性を肌で感じて一日の自然体験を終了しました。



みんなで力を合わせて、
森を明るくするのは楽しいね！

最後に片山会長から、「この『佐久島まるごと 自然体験ツアー』は、見て・触って・楽しんで自然体験をすることにより、三河湾の豊かな自然を知り、その自然を維持するために何が出来るかを考えようという思いで企画しました。先ほど半数以上の参加者の方が初めて佐久島に来たとお聞きしましたが、一日をかけて行った盛りだくさんの体験を通じて、島の豊かな自然と魅力を知る、よい機会になったのではないのでしょうか。そしてこのきれいな島の自然を守ることに大切さに気づき、島を愛する人々による『島を美しくつくる会』の皆さまの熱い思いを感じられたと思います。

最後に、本日のすべての行事にご協力いただいた『島を美しくつくる会』の鈴木会長にお礼を申し上げます」との挨拶があり、活動を終了しました。